

# この時期から頑張って結果を出すために

～はじめに～

こんつは。WESA のふじまきです。

今日は僕のレクチャーに来てくれてありがとう。タイトル通り、今回のレクチャーの内容は2年の時から Dis 真面目にやり始めて3年でランク取する方法について書いてます。下剋上できたのは、『オブレとセオリーが好きになったから』だとホントに思ってます。

個人的に、Discussion は大学生活を捧げるだけ価値があるものだと思います。そんな Discussion にこれから1人でも多くの人に取り組んでくれること、それからこのレクチャーがランクを取ることの手助けにほんの少しでもなることを心から願ってこのレクチャーを始めます。

## 目次

第一部 セオリー、ケース編

第二部 opinion presenter 編

第三部 心理戦編

さいごに

## 第一部 セオリー、ケース編

まず、セオリーって、個人的には Discussion を効率よく進めるための暗黙のルールだと思うんですね。この効率良くってことってランクをとるにあたって結構大事なんです。というのも、順位の付く大会、特に春セミにおいてはテーブルコンクルというのはすごく大事になってくるからなんです。同じ順位でもテーブルコンクルの高い方がより上のテーブルに行くなんてことがざらなんです。

上の方行ってる人でセオリーを知らない人はほとんどいません。なのでまずはセオリーを理解することから始めましょう。セオリー問題集だったら WESA にあるものをデータであげられるので、欲しい人は言ってください。

でも、『セオリー位理解してる、けど上手く結果に結びつかないよー』っていう人も多いと思うんですね。そんな人は理解だけしてて実践力が足りないんですね。なので実践力を上げる方法を伝授しようと思います。まず、二人組でこれはやります。そして、

- ①まず、流す側とごねる側に分かれます。
  - ②ごねる側は、チャートを使ってセオリー問題集に載っているアーギュをします。（“憲法違反なんで、no praca だよ”みたいな）
  - ③流す側は、アイデアをチャートでカンファメして、いわゆる流しをします。
  - ④ごねる側はそこですんなり終わるのではなく、さらにごねる。
  - ⑤流す側はそれについても流す。
- 以後繰り返し、どちらかが出せなくなったら終了。

この練習の良いところは、

1. チャートを書く練習になるので、プレゼン力も鍛えられる
2. いわゆる task 流し以外のフレキシブルな流し、対処方法を使うことになる
3. ごねる側に回ると、アーギュするときの練習になる

ぜひやってみてください。最初はチャートを先輩に見てもらったりするようにしましょう。流し方、チャートの書き方がわからなければいつでも連絡ください。これをやりまくると、セオリー理解だけでなく、プレゼン力の向上、自分のアイデアを話し続ける力などいろんなことを得ることができますよ。これを僕は2年の今頃から結構なペースでやりました。すごく力がついたなど実感できるようにもなりました。これを次の春セミまで何十周とこなしてみてください。絶対に上手くなります。

## 第二部 opinion presenter 編

(1) オプレとは、オプレになるには

突然ですが、皆さん”オプレって何する人？”って聞かれたらなんて答えます？字のごとく『opinion をプレゼンする人』ですかね？それとも『セオリー使ってばんばん流す人』ですかね？では質問を変えましょう。”オプレって何をすべき人？”って言われたらどうでしょうか。どうですかね……。

僕は、『make situation better for J/N という信念の下、take plan を目指す人』だと思ってます。なんだ当たり前じゃないかと思ってる人もいますが、これがキホンのキなんですね。オプレにもしなれたのなら、みんなには何が何でも **take plan** するんだという気持ちの下で頑張っしてほしいのです。

因みに、オプレのことをオピメと呼ぶ人、大学もいますが、個人的にはオプレの方が好きなのでそちらで統一してレクチャーを書いています。

当たり前ですが、オプレで **take plan** するとか大きなこと言ってますけど、そもそもオプレになれなければ意味がないわけです。実はこのオプレに選ばれるというのは地味に難しいんですね。(特に順位のつく春セミ、アッセンでは)。

ですが可能な限り可能性を上げる方法はあるのでそれを教えます。キーワードは”オーソリティー”です。

①Dis 開始前からみんなに話しかけまくる

Dis はテーブル開始前から始まるとも言われます。その際の立ち振る舞いは超大事です。ずーっと黙ってる人と、ニコニコして感じよく話す人なら後者の方がみんなに良く思われる可能性が高いですよ。つまんねえ話だなと思っても話しかけた方が経験的にもオプレに選ばれやすく、**suggestion** も通りやすくなります。目指せ脱コミュ障ですよ(笑)

②自己紹介

Dis 開始前に自己紹介タイムがあります。ネムカを持って大学、学年、名前を言うのですが、その時も皆さんなんとなくやってないですか？これは先輩から教えてもらったことですが、ネムカを皆の見やすい位置に掲げて、皆の目を見ながら、ゆっくりとはつきり笑顔で紹介することが大切です。これによって自分の印象値を上げることができます。

③Narrowing

Narrow を堂々と読むことも勿論ですが、いわゆる narrow ぶっこみに上手

く対処出来たらオブレになれる確率はグーンと上がります。なので考えられる Narrow ぶっこみの対処法は自分なりに持っといってください。(task 変えよう、1ADvs1DA じゃ不十分、D/criteria を決めようなどなど…。さっきいったセオリー問題集にあるようなやつについてプレパしておきましょう。

#### ④Appeal point, core point

オブレ候補者へのメジャーQの一つに **appeal(core) point** というのがあります。『自分を選んだ時のメリット、オブレとしてやりたいこと』みたいなものだと思ってください。この時は、まあ皆口をそろえて “**comparison** に早くいって皆のロジック検証したい”みたいな事言います。個人的にはこんなもの **appeal** にもなっていないとは思いますが、オブレに選ばれるにはこのような無難なことを言うのがベターかなと思います。  
要するに早くコンパリ行って、**AD>DA** になれば良いのですから。

#### ⑤他のオブレ候補のオーソリを下げる

これは発展ですが、人のオーソリを下げることで相対的に自分のオーソリを上げることができます。例えば、“コンパリに早くいきたい”というオブレ候補には、“何故 **NFC** 設置したの？僕のオピシは **NFC** カットしてるから僕の方が良いよ”みたいな事を言う訳です。

まあ、こんなところですね。まあぶっちゃけて言うと元からのオーソリティ一、テーブルに自大学がどれだけいるかがかなり大きなウエイトを占めます(笑)ですが、上記の事に気を付けるとオブレになる確率はグーンと上がり、たとえオブレになれなかったとしてもその後のテーブルにおいても影響力を上げることができます。

#### (2)オブジェクションへの対応

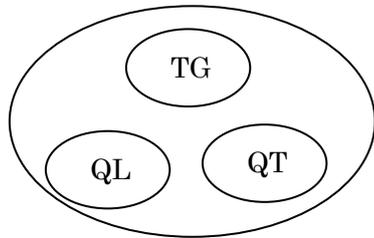
オブレをしていて一番嫌なのはオブジェクションでしょうねやっぱり。

こないだまでの医療問題においては、**praca** でオブレ以外のパンツが全員 **objection** をもってるなんてことも春セミアッセンではざらにありましたよね笑

基本的にはさっき第一部で述べたセオリー、ケースを大事にしてください。基本的にあれを徹底的にやっていたらセオリー通りの流し、セオリーに縛られない流しといった様々なアプローチが **objection** に対してできます。

### (3)コンパソンでの振る舞い

さあやってきました。コンパソン area です。オプレとして **take plan** まで持ち込めればまず間違いなく 1 位とれます。まず知ってほしいのが、**Comparison** において、たった一個でも  $>$  が立てばその他の部分は **unclear** でも **take plan** になってしまうということです。(否定する人もいるでしょうけど、多くの **Dis** においては暗黙のルールになっていると思います) 例えば、**TG** コンパリで一個 **AD** $>$ **DA** が立って、それ以外は不明で 3 時間が到来すると、多くのケースでは **take plan** になってしまうのです。この暗黙のルールを利用して **take plan** をします。



この中の一個さえ立てばよいのです。

僕のおすすめは **QT** コンパリチックなものを使うことです。

基本的に一番反論しづらいのは **QT** コンパリですね。なのでオプレとしてはこれを使いたいところです。 **QT** コンパリについて説明してきます。

#### ①がちがちの **Evidence** で固めたコンパリ

例. **TOPIC**: タバコ **PLAN**: タバコ廃止

**AD**: 嫌煙家 **DA**: タバコ廃止に反対する喫煙者。

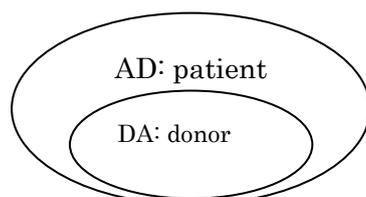
“僕タバコの匂い嫌いっす”みたいな国民の割合の **Evidence** があつたりするのでそれで比べます。 **DA** の愛煙家は国民の中では少数派なので数の大小の比較はできると思います。政策決定会議をしている以上、 **Evidence** を使うことは凄く大切だと思います。ただ、反論される余地があるのも事実です。理由としては、**[(1)Evidence** には多少恣意的なものも含まれること **(2)SQ** に実施した **Evidence** が **AP** においても正しいとは限らないこと]等があげられますね。まあ数の大小を感覚的に皆が納得すれば立つでしょう。

## ②包含関係によるコンパリ

例. TOPIC: 臓器移植 PLAN: 脳死患者を例外なくドナーにする

AD: 臓器移植待つ患者 DA: ドナーになった脳死患者

こちらの QT コンパリの方がおすすりめですね。ドナー1人あたりいくつかの臓器を提供できるので、DA のドナー1人で AD 患者の何人かに臓器を提供することができます。こっちのコンパリは恣意的なものが含まれづらく、AP の数もきちんと考慮できているので立ちやすいかなと思います。



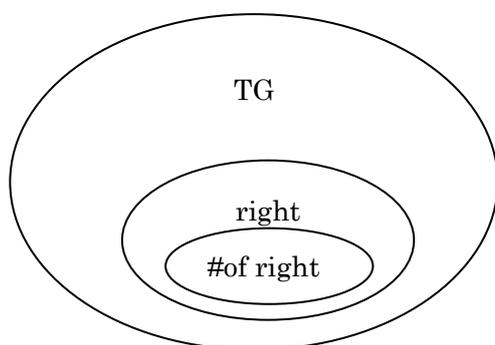
これらの例は、QT コンパリなのですが、思いつきづらいいですね。次に QT コンパリではないのですが、QT コンパリチックなものを紹介しします。

### i 失われる権利、物の数で比べる

例. TOPIC: 臓器移植 PLAN: 脳死患者を例外なしにドナーにする

AD: 患者、DA: ドナーの家族

ADTG は PLAN をとらなければ死んでしまうが、DATG は PLAN をとっても死なない。死ぬと全ての権利、物を失うので  $AD > DA$  であるという idea です。少なくとも TG1 人あたりの失われる権利、物の数は AD の方が勝っていますよね。反論として、権利一個あたりの大切さは DA の方が大切だというのはあるかもしれませんが、大切さを測るなんてできますかね? できたとしても数に関しては AD が勝っています。これを図にしてみます。



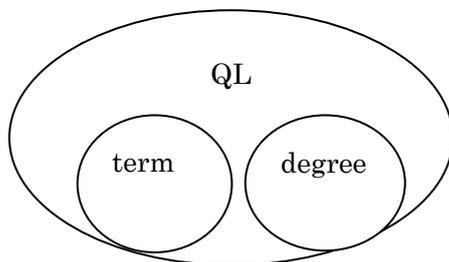
この図を見ると分かるように # of right に関してはプライオリティがつかます。

3impacts の中の一個がたてば take plan になるのであれば、TG の中の right の中の # of right も take plan になる要素としては充分だと思います。

## ii 期間の長さ

これはどちらかというところ、 $DA > AD$  の idea として多いんですけど、s/m の term を比較するものです。これも、長さという数的なもので比較しているのだから、反論しづらくなります。Degree に関する反論が予想されますが、正直 1 分あたりの s/m 度なんて分かりませんよね。

Term に関しては少なくとも priority は立つのかなとおもいます。



ここでも QL の中の term という一要素を使っています。QL の seriousness を示す一部分であると思うので、take plan に密接に関わっていると思います。

基本的に、数学的に比べるものは価値観が表れづらいので、コンパリをスムーズに進めるのに適していると思います。数が多い、期間が長いという側面に関しては priority がつけられるので、そこで勝負するのが必勝法でしょう。

## 第三部 心理戦編

### (1) 顔を観察しろ

Discussion って一人でやってるわけではないんですね。周りの人を良く観察することは Dis においてマストです。例えば、顔をみてうんうんとうなづいている人は基本的に話が分かっている人です。一方、ぽかんとしたり不安そうな顔をしている人は話をあまり分かっていないはず。そこで、その子たちに向かって丁寧なカンファメをしてあげる。するとどうでしょうか。その人たちにとってあなたはすごく信頼のおける人と思うはず。これによってオーソリがあがり以後の Dis において suggestion が通りやすくなったりします。63 代チーフの有賀啓佑さんはよく、「顔にすべてかいてある」とおっしゃっていました。これを覚えておくと良いカンファメができるようになるかと思っています。

## (2)チャチャ入れ

これ別に煽れと言ってるわけではないですよ（笑）。ただ、Disにおいてチャートに書いたり、I have a Qと言ってから発言がすべてでないということです。基本的に相手の言ってることを知りたいときに使うのですが、軽く「~?」みたいに聞いてみることです。それで相手がイエスと言えればしめたものです。どや顔でカンファメなりなんなりしてあげましょう。これの良いところは、リスクがすごく小さいところです。基本的に茶茶入れはいわゆる発言ではないので、ノーと仮に言われてもあんまりダメージが大きくないです。目的は、選択肢を消していくことにあるので。ミスカンを防ぐことができるのでお勧めですね。これは62代リブラ実長の鈴木章文さんに教えて頂いたことなのですが、これをしだしてから順位が急激に上がりだしたのを覚えています。

## ～さいごに～

Discussionは技術的な部分も大切ですが、気持ち的な部分もものすごく大切です。ある種残酷なルール、システムの下で行われるので、メンタル的にやられる部分も多々あります。ですが、ものすごくやりがいのある競技ですし、他の皆が得られないような経験をすることができます。本気になって取り組めば取り組むほどそのような思いを感じられるでしょう。それからDisに関しては始める時期はあんまり関係ないですよ。僕自身も2年の時は結果どころかDis自体あんまやってませんでしたけど、何とか3年でそれなりの結果を残せました。2カンテール、乙2にすら入ってなくて3年で素晴らしい結果をだした人は今まで何人もいます。まあ、言いたいのは”まだまだこれから”ということです。去年自分よりもはるかに良い結果を出している人たちより良い結果を3年で出す、上手くなっていく快感を是非味わってください。先輩方、同期に無名だった自分の名前が徐々に浸透していく快感を是非味わってください。これは現在ボトムにいる君たちの特権ですよ（笑）裏を返すと現在上の方にいる2年生は抜かれないように頑張ってください。

また、このレクチャーは、WESA62代リブラ実長の鈴木章文さん、63代チーフの有賀啓佑さんの教えをもとにしています。お二方ありがとうございました。

最後に僕の連絡先を載せておきます。面識なくてもDisだったり、飲みだったり何でも誘ってくださいね。みんなが結果を残すことを心から祈ってます！

LINE ID: rf48691234

Mail: fujimaki4869@fuji.waseda.jp

藤卷 亮太